

22年支部活動報告

平成23年5月22日

支部名 (50音順)	地域防災拠点 点数	地域防災拠点 での延べ 訓練回数	延べ動員数	地域防災拠点を中心とした活動 / 技能向上のための自主的な訓練 / その他の支部活動	3 / 1 1の支部活動とその後の取り組み
01_青葉	39	20	134	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練＝医師会連携、緑区支部、都筑区支部と相互連携</li> <li>・九都県市訓練の川崎ハムネットを支援し青葉区より訓練に参加</li> <li>・オンエアミーティング＝毎週土曜21:00から平均13局参加＋医師会の無線局平均1局が参加</li> <li>・地震を感じたら開局し相互の安全を確認する即応訓練を励行</li> <li>・その他支部内にプロジェクト</li> <li>・区役所支給アンテナセットの運用テストと倉庫保管、各防災拠点運営委員会と連携</li> </ul>	地震直後、開局12局と医師会館計13局にて相互の安全を確認。区総務課が区役所局のモニターを試みる。震災後に総務課と情報交換。4/11のM7余震時には開局6局の交信モニター成功を確認した。
02_旭	37	31	195	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区指定の特別避難場所（ハンディー機移動）と拠点局及び区役所局との通信確認を実施。</li> <li>・防災拠点配備の無線設備点検を実施（31拠点）。防災拠点配備の発電機の始動不良が多く、発災時時の電源確保に不安がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3/11地震発生約1時間後から、9局が指定周波数（438.08Mz）に順次チェックインし情報交換。地震直後には数局が指定周波数を聴取。</li> <li>・区役所局の立上げは行わなかった。←有線電話での連絡が可能、区内の被災は軽微で落ち着いた状態（区役所からの話）</li> <li>・今後、東関東大震災、過去の震災経験、訓練の経験に学び、発災時の旭区支部ネットワーク立上げ、運用のガイドラインを作成する予定。</li> </ul>
03_泉	24	12	75	9/5 9都県市合同防災訓練に参加。区防災連絡協議会、拠点運営連絡委員会に参加。	3/11、支部員（7局）が自宅から通信を開始し無事を確認。同日夜9時から支部長を基地局とし通信を開始（15局参加）その後、震度3以上の余震があると、夜に通信訓練を行った。課題は、区役所との連絡、さまざまな判断をどうするか。
04_磯子	21	34	233	訓練回数は地域防災拠点訓練に加えて、連合地域の防災訓練、出勤態勢訓練を含む。その他に防災イベントに3回参加し、防災訓練時と同様に、発災時の情報伝達の重要性を「紙芝居」や「チラシ」配布などでPR。また毎月1回定例のロールコールで、延べ197人が参加した。	地震直後から、訓練でなく本番情報伝達を行った。14：53 準備統制局運用開始、各局の自宅周辺被害情報収集。15：30 区役所統制局運用開始、地域防災拠点の状況、並びに各局の自宅周辺状況を区役所災害対策本部へ報告。19：00時で運用を終了した。デジタル移動無線が十分に機能しない中で、我々の情報伝達は少なからず貢献できた。当日の会員参加局数は17人。区役所統制局運用は3人。
05_神奈川	22				
06_金沢	26	1	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2月6日災害ボランティアネットワークを中心に各ヶアプラザ、区役所とともにシュミレーション訓練に参加。</li> <li>・毎月第一度土曜日21：00～ON AIRミーティングを実施している。</li> <li>・参加者拡大を図るため不参加者へ参加を呼び掛けるメールを送信した。</li> <li>・図上訓練を2回実施、7月17日山火事を想定、12月23日洪水を想定した訓練、地図上から地形や、安全な避難通路などを読み取る方法を習得した。</li> <li>・6月5日、9月4日、2月5日のONAIRミーティング開始前に電文書き取り訓練も3回実施。</li> <li>・資機材の補充を西金沢、釜利谷、能見台、六浦各ヶアプラザへANT、同軸ケーブル、ANTポール等の資機材を用意し常備した。</li> <li>・記録用紙、行動マニュアルの改正をし、記録用紙は、ログ形式とメモ用紙を会員に提供、行動マニュアルは、ヶアプラザへ資機材が常備が一段落するのを待ち、ANT設置位置、その他を見直し改訂版を出す。</li> <li>・10月16日海の公園で開催された、第36回金沢まつり、いきいきフェスタに出展した。会員7名を選出し、企画、準備、展示を行った。4種類の避難場所の違いをパネルにて説明した。災害ボランティアとして組織のPRを行った。協力して制作、運営した結果、仲間意識の高揚と協力体制が構築された。</li> <li>・6月26日深大寺、神代植物園、電気通信大学のUECコミュニケーションミュージアム散策と見学をした。11月23日武山ハイキングは雨天の為中止した。</li> <li>・HPを役員で運営できる体制となり、5月上旬より公開予定。</li> <li>・局免許の有効期限終了3カ月前ほど、本人へハガキにてお知らせをしている。</li> <li>・会員名簿の更新を8月1日に第一版を発行した。</li> </ul>	今まで通り震度3以上の地震では、無線機の電源をいれ最初の局がコントロールし参加局の状況を把握する決まりであった。当日発災直後8局の参加が有り、被害状況等の報告をした。その後の取り組みは特になし。総会時に今回の災害地への義援金を募集し、その義援金を4月25日朝日新聞横浜支局へ届けた。
07_港南	32	31	108	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二回SSTV勉強会 19名参加 5月22日 区役所会議室 講師：J A I E X H</li> <li>・拠点運営委員長宛に、「港南支部の紹介」配布10/18 区役所から郵送にて</li> <li>・防災情報Eメール（市危機管理室）登録促進に向けたお願い 2011/1/14 市危機管理室 yokohama@bosaiMailへ登録促進（メールにて）</li> <li>・区民祭りと子供ゆめワールド 10月30日 台風14号接近で、中止となった</li> <li>・港南区防災拠点運営委員会連絡協議会6/18、2/4 出席：支部長・理事</li> <li>・特別避難場所へのアマチュア無線通信拠点展開検討（区、支部）2011年度に具体化策検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・港南区は拠点開設なし、区と調整。但し、区は上大岡駅で帰宅困難者収容、3か所にて受け入れた（支部は出勤なし）</li> <li>・停電時の電話利用（有線）について2011/3/14メールにて支部員へ周知</li> <li>・福島県大崎市三本木（防災協定）との通信準備2011/3/18 HFで準備完了 今回は有線で連絡可能の為実行はなし</li> <li>・市HPの放射線情報のメールでの周知と支部HPに掲載計画停電情報についても同じ</li> </ul>
08_港北	28	24	123	7/4 移動運用訓練。 8/28, 29 横浜市防災フェア参加。 10/16 ふるさと港北ふれあいまつり参加。	発災時、約5局程が自宅から運用、所定周波数(438.70MHz)で情報交換した。別にハンディー機の5局は運用するも交信出来ず。震度情報の把握がまちまちで、港北区役所本部、拠点活動の運用は出来ずだった。帰宅困難者となった支部員も多数いた。
09_栄	20	8	14	9/5 1拠点で防災訓練に参加（4名） 2/19 5拠点にて通信訓練（9名） 2/20 1拠点で防災訓練に参加（1名）	2011.3.11 7030MHz ウォッチ等 2011.5.～毎月30分、月例伝送訓練をon air で行うことを決定。

支部名 (50音順)	地域防災拠点 数	地域防災拠点での延べ 訓練回数	延べ動員数	地域防災拠点を中心とした活動 / 技能向上のための自主的な訓練 / その他の支部活動	3 / 1 1 の支部活動とその後の取り組み
10_瀬谷	15				
11_都筑	27	27	132	区役所との交信が困難である地域防災拠点1か所に、区役所負担で固定アンテナを設置し、区役所間の交信に支障がなくなった 訓練時に青葉区、緑区と通信連携を実施した 新規入会者9名、退会者3名	(震災時)早い段階で地域防災拠点2箇所が開局、区役所からは消防団員兼務の会員が短時間のみ運用する。区役所から要請はなし。 (反省)区内にいる会員数が少ない、相互連絡できず行動の統制がとれないことなど。 (対策)日ごろからの430MHz、1200MHzの活用。自律した行動の再確認。連絡手段としてメーリングリストの利用を開始した。
12_鶴見	31				
13_戸塚	35	13	50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハムフェア講演会講演・講師参加(防災と非常通信、JM1NMW:竹内) 平成22年8月22日(日)参加局6局</li> <li>・戸塚区防災訓練参加 平成22年8月29日(日) 区役所災害対策本部及び、 柏尾小学校地域防災拠点会場訓練(SSTV対応)参加局8局</li> <li>・技術講習会の開催 平成22年10月16日(土) テーマ:非常電源の製作※災害時に電源インフラ回復までの 2日程度の通信を確保するための電源製作参加局9局</li> <li>・地域防災訓練の参加・実施状況 平成22年9月26日(日) 南舞岡小学校、秋葉小中学校地域防災拠点通信訓練参加局5局 平成22年10月30日(土) 秋葉小中学校地域防災拠点通信訓練(SSTV対応)参加局6局 平成22年10月31日(日) 南戸塚中学校地域防災拠点通信訓練(SSTV対応)参加局5局 平成22年11月6日(土) 川上小学校地域防災訓練参加局4局 平成22年11月7日(日) 汲沢中学校(SSTV対応)参加局4局 平成22年11月21日(土) 東戸塚小学校、東汲沢小学校、豊田中学校、下郷小学校地域防災訓練 参加局10局 平成22年11月28日(土) 南戸塚小学校地域防災訓練参加局3局 平成23年2月19日(土) 小雀小学校地域防災訓練参加局5局</li> </ul>	<p>区役所社団局(呼出符号JR1YWP)は、今回通信運用を行うことはなかった。</p> <p>3/11 14:46 東北地方太平洋沖地震発生 15時頃 区支部所属員により、防災のための警戒通信を開始 ・協力会指定通信周波数:433.46MHz FM無線電話 ・対応した区支部員3局 ・通信場所:区内自宅周辺及び地域防災拠点(東戸塚小) ・通信内容:周囲の被害状況、地域防災拠点の状況(住民避難や学校対応)、区内停電の状況、影響など(この間断的に通信を行う) 17時頃、通信を終了</p> <p>3/15 22:31 静岡県東部を震源とする地震が発生(富士宮市震度6強 戸塚区震度4) 22:45頃 区支部所属員により、防災のための警戒通信を開始 ・協力会指定通信周波数:433.46MHz FM無線電話 ・対応した区支部員2局 ・通信場所:いずれも区内自宅 ・通信内容:周囲の被害状況、区内停電の状況、影響など(この間断的に通信を行う) 23:15頃、通信を終了</p>
14_中	14	1	3	毎月、第一土曜日、21時～、145.60MHzにて、オンエアミーティング実施	
15_西	12	3	31	8/7 野外通信訓練を兼ねて、FDコンテストに参加 10/31「西区民まつり」に参加予定で準備していたが、荒天により中止(APEC開催が間近のため、順延しなかった)	横浜駅の帰宅者難民多数発生したため、近くの小学校が一時休憩所となり、支部員(移動と固定局)が待機した。 3/20 西区地域防災拠点モデル訓練が予定されていたが、東日本大震災の発生により、区担当者が現地派遣されたこともあり、中止された。
16_保土ヶ谷	26	4	15	区役所無線機取替え。保土ヶ谷区市民活動センター入会	3/11以降各局とコミュニティを密にするようにする。ミーティング年4回
17_緑	24	25	22	①会員各局の努力で隣接区との情報交換やQSOに努めた。(青葉区・都筑区・旭区・栄区) ②非常交信マニュアルの作成(2011年度課題)	緑区内は、大規模停電となり(震災から22:00頃まで)帰宅困難者や非難住民のために長津田小学校拠点のみ開設 ラジオなどでは被災地の情報のみであったが、停電から免れた局が有りQSOによる情報交換で拠点校はかなり勇気付けられたと報告があった。 停電時の電源確保や、非常時のQSOによる心理的な安心感というものを実感した良い体験となった。
18_南	25	1	1	3月13日に六ッ川地区にて防災訓練が実施された。 YWHとしては、情報受伝達訓練を依頼されたが、支部員の参加がなく、支部長のみ参加となってしまった。 町内会の避難誘導係の使用する特小無線機について、レクチャーを依頼されたため、これを実施した。 当該地区の特性として、山谷地域のため、特小無線機の特性上通達距離が伸びないため、高台に中継を置く等のアドバイスをを行った。	震災直後に、JJ1AKBの勤務先(金沢区福浦)より2m、430MHzにて金沢支部及びYWCを呼び出すも応答は、得られなかった。 14日以降、7.030MHzを聴取する。(18日まで)

458 235 1,152

この表の取りまとめは本部理事・半田理(都筑区支部)が行いました